



スワリク埼玉冷蔵倉庫

- 本社所在地：長野県諏訪市豊田1070番地
- 事業概要：一般区域貨物自動車運送事業/貨物取り扱い事業/倉庫付帯事業/梱包保管事業/輸出入通関業務
- 常時使用する従業員：263名（令和7年3月時点）
- 現在の売上高：38.8億円（令和7年3月時点）
- 法人番号：2100001018442
- Web：<https://www.suwariku.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
小池 大洋

企業理念
私達は物流業務を通じて全従業員の物心両面の豊かさを実現するとともにお客様と社会の発展に貢献します

長野県内に冷蔵センター、冷蔵保管倉庫を整備し、農産物・チルド食品・冷凍食品の品質を維持し、生産者と消費者繋ぐ効率的なサプライチェーン体制を構築する。そのセンターでは、物流加工として青果・生花を包装し、低温流通により賞味期限を延ばした末端での販売を可能にすることにより、フードロスの削減を成し、地球にやさしい低温物流体制とする。また冷蔵・冷凍・常温の3温度帯の共配輸送体制を構築することにより、消費燃料を削減し地球温暖化に貢献すると共に、物流効率化を成し、物流危機を回避する一助とする。これらにより収受運賃を増加させ、従業員採用と給与の増加を成す

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年に低温物流加工業務・サプライチェーン体制を確立すると共に、物流と商流を一体的になす新たなビジネスモデルを構築し、売上高100億円を達成する

課題

成長率10%を積み重ねていく為には、低温物流サプライチェーン体制を構築する必要がある。その中核になるのが固定費としての冷蔵センター・倉庫の保有とITを駆使したシステムの整備である。この3PL体制を確立することが課題となる。またこれらを成すための人材採用と人材育成が課題となる。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

長野市と佐久市に冷蔵・冷凍物流センターを設置し、低温センターの中で青果・生花・生鮮品の物流加工業務を行い、365日24時間稼働できる体制を構築する。AI・IT手段を活用した在庫管理体制と効率的な低温共同配送体制を構築する。

実施体制

長野市に2026年3月に常温倉庫内に冷蔵・冷凍設備を設置して低温物流センターを開設する。同様に佐久市に2026年9月に物流倉庫を改修し、冷蔵・冷凍設備を設置し低温物流センター及び物流加工場を開設する。これにより長野県内青果物および冷蔵・冷凍商品を集荷・加工して、保管・配送・販売までの一貫サプライチェーン体制を構築する。また海外特定技能者を採用し、運転手・構内作業員として勤務していただき雇用者の増加をなす。